

西国巡礼慈悲の道

西国第三十一番

姨綺耶山

長命寺

祈りの空間

山主 武内隆韶



八百八の石段の先に平安の世から佇む寿命長遠の寺。琵琶湖の美しい風景が望める姨綺耶山の中腹にあり、本堂をはじめ風格のある諸伽藍が建ち並んでいます。

喧伝され、各方面からの信仰を集めました。東西に長い高低差のある境内には、三重塔（重文）、護摩堂（重文）、本堂（重文・室町時代…一五二四年再建）、三仏堂・護法権現社拝殿・渡廊下（県指定）、鐘楼（重文）、如法行堂など、大小十余の堂宇が配されています。

平安期から鎌倉期にかけては延暦寺西塔の別院となり、近江国守護佐々木氏の庇護のもと、伽藍整備が進められ、最盛期には四十余りの僧坊を擁し、西国三十三所観音霊場札所としても

鐘楼から望む、幾重にも重なる椋皮葺の優美な曲線を見ていると、深閑とした

深緑の中に、ひときわ大きな本堂の妻を白く塗った入母屋造りの屋根が目を引きます。

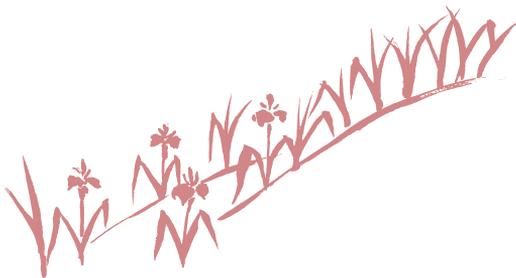
本堂は間口・奥行とも約二〇mの大伽藍で内陣中央には聖徳太子作と伝わる秘仏木造千手観音立像・十一面観音立像・聖観音立像（何れも重文）が安置され、建物の前半分は人々の礼拝空間となっています。その外陣柱には巡礼寺院特有の札打ちの釘が無数に打ちつけられ、往年の巡礼者達の祈りが今に伝わってきました。

巡礼の人々が自由に出入りし礼拝できる空間を正面に持つ三十三所寺院本堂の特徴が、中世にまでさかのぼることを長命寺本堂は物

語っています。山上にこれだけの伽藍を造り上げ、幾代も保持し続けてきた先人たちの知恵と労苦、信仰と情熱に思いを馳せ、お参りしたいものです。

南無大慈大悲観世音菩薩

合掌



西国第三十一番

姨綺耶山 長命寺

ちょうめいじ

御本尊／千手十一面聖観世音菩薩 開闢／長寿大臣武内宿禰 開基／聖徳太子

やちとせや やなぎにながき いのちでら
はこぶあゆみの かざしなるなん

✳️ 主な年中行事 ✳️

1月1日～3日	修正会
1月17日	初観音
2月1日	開山会
2月節分の日	節分会
3月春分の日	春季彼岸会
8月1・2日	千日会
9月秋分の日	秋季彼岸会

❁ 観音風光 ❁

境内のいたるところに自然崇拝の色濃い巨石が多く祀られている。本堂の背後には武内宿禰が修行をしたと云われる巨石「六処権現影向石」や御神体の「修多羅岩」など、何千年も前からこの場所にあり、寺を見守り続けてきた巨石の存在が、聖地の印象をより強く感じさせる。眼下には琵琶湖が望め、美しい水郷の風景が広がる。

ご詠歌の意味

「柳の霊木で刻まれた有難い千手十一面聖観音のご本尊さまにおすがりすれば、あらゆる苦難を救われて、健康長寿、疑いなし。このご本尊さまは人生の歩みのご先達となって導きくださるであろう」という意味です。

〒528-0808 滋賀県近江八幡市長命寺町157

TEL 0748-33-0031

納経時間 午前8時～午後4時30分

西国三十三所札所会ホームページ <http://www.saikoku33.gr.jp>

西国霊場にご参拝の時は納経帳や白衣を忘れずにご持参ください。2回目以降はご参拝の印として重ねて納経印をいただきますよう。